

本県のスポーツ振興支援のお願い

戦後間もない昭和21年、28競技団体を統括する団体として宮崎県体育協会が設立され、本県スポーツ振興の新たな歴史がスタートしました。以来、本協会は、スポーツの普及振興と県民の体力向上に寄与することを目的に、加盟団体や関係諸機関と連携して、諸事業を進めて参りました。同じ昭和21年、第1回国民体育大会が開催されましたが、スポーツの力を結集して戦後の混乱の中から立ち上がろうとする先人の熱い思いが伝わってきます。

今やスポーツは、青少年の健全育成、個人の体力向上や健康づくり、生きがいなど、人々の生きる力を育み、豊かな生活に貢献しています。また、スポーツ活動で生まれる交流は、地域や国際交流となり、地域の活性化や国際平和に貢献しています。

さらに、本県のスポーツランドみやぎきの取組は、スポーツをとおして本県の経済振興に貢献するなど、スポーツが多様な価値を持っていることを示しています。

一方、現代社会は、地域社会の交流の減少、少子高齢化、子どもたちの体力の低下などに直面しており、改めてスポーツの意義が見直されています。このような中、宮崎県は、第二次宮崎県教育振興基本計画における施策目標Ⅴ施策3においてスポーツの振興について具体的な5つの施策を構築し、子どもたちの体力づくりや県民のスポーツの実施率向上などを柱とする諸施策を推進しています。

現在、本県のスポーツ活動は、行政、学校、企業だけでなく、競技団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなどによって、施設や活動資金などに恵まれない中、多くのボランティアの熱い思いと献身的な努力で支えられており、本協会としても、諸事業をとおしてできる限りの支援をしているところです。

しかしながら、多くのスポーツ活動団体は昨今の社会経済状況の中、活動資金の確保に苦慮しており、これを支援する本協会も事業財源の確保が年々厳しくなっています。このような状況を乗り越え、本県スポーツの一層の普及振興を推進するためには、本協会やスポーツ活動団体のさらなる自助努力は勿論ですが、これを支える県民各位、県下各地域の理解と支援が不可欠であると考えています。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会開催に伴う関連事業や2026年二巡目となる第81回国民体育大会・第26回全国障害者スポーツ大会の本県開催を見据えて、本協会もこれまで以上に高い社会的役割を担うことになるこの機会を、自らの努力で財源を確保し、積極的に本県スポーツの普及振興事業を展開し、県民の皆様と本県の豊かで活力ある将来に貢献したいと考えております。

県民各位におかれましては、スポーツ活動の意義や社会的役割、現状を御理解いただき、本県のスポーツ活動団体や本協会のスポーツ振興の取り組みに対し、物心両面の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年 4月吉日

公益財団法人 宮崎県体育協会
会 長 佐藤 勇 夫